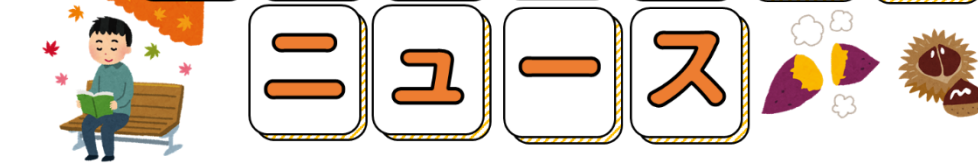


ごとう健康づくり

令和5年秋号(9月発行)
(発行)五島保健所地域・職域
連携推進協議会
(事務局)長崎県五島保健所
〒853-0007 五島市福江町7-2
TEL(0959)72-3125



ニュース

今月のテーマについて、五島市国保健康政策課健康づくり班に御協力いただき、五島市の現状等について教えていただきました。

今月のテーマ

がん検診について

■大ピンチ！五島市民の健康状態

五島市民の健康状態を見てみると、驚くほど悪い状態です。長崎県内21市町で比較をすると、男性の平均寿命が最下位であり、心筋梗塞や脳梗塞による死亡率は男女ともとても高い状況です。長崎県内の死因別死亡数を見てみると、悪性新生物(がん)が最も多く、次に心疾患、脳血管疾患(脳梗塞や脳出血など)が続きます。

R3年度 長崎県内21市町中ランキング

男性

- 平均寿命79.3歳
ワースト1位
- 健康寿命78.8歳
ワースト7位
- 心筋梗塞による死亡率
ワースト3位
- 脳梗塞による死亡率
ワースト2位

女性

- 平均寿命86.9歳
トップ10位
- 健康寿命83.8歳
ワースト5位
- 心筋梗塞による死亡率
ワースト2位
- 脳梗塞による死亡率
ワースト5位

死因別死亡数 ※R2度 長崎県衛生統計年報)

悪性新生物(がん):171人
心疾患 :108人
脳血管疾患 :59人

令和2年度の男性の平均寿命
長崎県は47都道府県中、
男性ワースト10位。
つまり、**五島市の男性は
国レベルで短命**ということ？！



■「いつ死んでもよかよ」「どうでんよかよ」ほんと？

健診やがん検診を受けましょう!と声をかけさせていただくと、「いつ死んでもよかよ」「どうでんよかよ」という言葉が市民の方から返ってくる場合があります。いざ、病気になるとどうなるでしょう。自身や家族、周りの環境が一変します。リアルに想像してみてください。働き盛りの「がん」「心筋梗塞」「脳梗塞」は、家族にとっても非常に大きな問題になります。問題となったとき、「健康」の重さを知ることになります。

「健康について考えること」は「これからどう生きていくか」ということにつながっていきます。

「健康であること」=「自分自身と家族の人生を守ること」です。

がん検診や健診を受けて、まずは自分の健康状態を把握することが、健康への第一歩です！

■「がん」から命を守る「がん検診」、「生活習慣病」を予防するための「健診」

【がん検診を受ける意味】

◎がんの発見が「がん検診」か「がん検診でない（非検診）」で15年相対生存率が異なります。（単位：%）

がんの種類	がん検診でがんを発見	がん検診での発見ではない
胃がん	79.8	46.3
肺がん	41.0	11.1
大腸がん	95.3	60.5
乳がん	90.0	78.3
子宮頸がん	98.6	68.2

県がん登録事業報告 H29

◎早期にがんを発見することで、医療費を抑えることができます。

入院費なども含めた病期別の平均自己負担（間接費用を含む）年額は、Ⅰ期 69万円、Ⅱ期 67万円、Ⅲ期 91万円、Ⅳ期 114万円で、ステージ（病期）が進むにつれ、費用も高額になっていきます。

厚生労働省 第3次対がん総合戦略研究事業「がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究」2012年度報告書

【健診を受ける意味】

- ◎ 症状のない生活習慣病のリスクを知ることができます。
- ◎ 健診の結果により、現在の健康状態にあった生活習慣等に関する情報の提供や改善のためのアドバイス等の支援が受けられます。
- ◎ 糖尿病や心臓病・脳卒中等を予防し、いつまでも健やかな生活を送ることにつながります。

■五島市民と「がん検診」「特定健診」

令和3年度は、**がん検診でがんが発見された方が、26名!** 命を守ることができました。「がん」はいつできるかわからない。だからこそ、定期的に継続的に、がん検診を受ける必要があります。しかしながら、五島市の受診率はまだまだ低い状況です。また、特定健診もがん検診と同様、受診率が低い状況です。

【がん検診】 ※胃カメラ以外のがん検診はすべて無料！胃カメラは2,000円（生活保護世帯は無料）

五島市で実施しているがん検診	対象者	令和4年度受診率
胃がん検診（バリウム・胃カメラ）	バリウム：40歳以上 胃カメラ：50歳～68歳偶数年齢	3.1%
肺がん検診（レントゲン）	40歳以上	13.4%
大腸がん検診（便二日法）	40歳以上	15.0%
乳がん検診（マンモグラフィー・30代の方のみマンモ+エコー）	30歳以上	13.4%
子宮がん検診（内診）	20歳以上	20.8%
前立腺がん検診（血液検査）	50歳以上	19.0%

【特定健診】 対象者：国民健康保険加入の40歳以上の方

※五島市の場合は早期健診を実施していることから、20代30代健診も実施しています。

■がん検診・健診の受け方 ※詳しくは HP までごとうを検索

ステップ1 がん検診・健診を受ける場所を決める。

市役所、保健センター、各支所地区の会場があります。

ステップ2 受診予約をする。

集団検診と個別検診があります。

ステップ3 がん検診・健診を受けに行く！

がん検診 お勤めの職場で受診機会がある方は事業所検診で受診ください。

健診 国民健康保険加入者でなければ、市の健診は受けることができません。お勤めの職場にご相談ください。

【事業主さまへお願い】

高齢者の医療確保に関する法律により、医療保険者から健康診断に関する記録の写しの提供を求められた事業所は、当該記録の写しを提供するようになっております。

貴事業所の従業員の方で 40歳以上74歳以下の国民健康保険加入の方で貴事業所実施の健康診断を受診された方の結果を市国保健康政策課あてに提供していただける事業所さまは、五島市国保健康政策課 健康づくり班 (Tel:72-6111 内線 199)までご連絡ください。

特定健診を受けると 豪華賞品

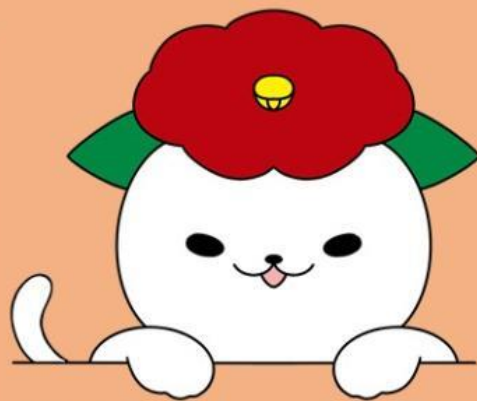
 対象者

が当たるかも

国民健康保険加入者で、令和5年度特定健診（集団健診または個別健診）を9月末までに受診した方（40歳～74歳）



健康になっ
プロジェクト！
GOTO



 賞品

5,000円相当(800名様)

 当選発表及び賞品の配付方法

令和5年12月に抽選を行い、当選者に通知します。

健康で明るい未来のため
特定健診を受診しましょう！

特定健診についての詳細は、こちらのQRコードを読み込みください。

☎ 国保健康政策課健康づくり班 0959-72-6111 (内線199)